

〈ミッション〉
自立
追究
共生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園 だより
令和8年5月18日
校長 後藤康太郎

ジダイをリードし、あいにあふれた社会形成の力を育む
～自ら「気づき・考え・実行し、リスペクトしあう」玉湯学園～

上級生から下級生へ 優しさの連鎖

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。新年度が始まって約2か月が過ぎ、子どもたちも新しい学年や学級での生活に少しずつ慣れてきたようです。

先日、朝の校門であいさつをしていると、一年生の児童が少し不安そうな表情でゆっくり登校してきました。

すると、前を歩いていた上級生が「一緒に行こう」と優しく声をかけ、手をつないで校門に入っていました。一年生の表情が少し和らいだように見えました。

「もしかしたらこの上級生も一年生のときに、こんな風に優しくしてもらったのかな」

「この一年生も上級生になったらこんな風にやさしくしてくれるかな」

などと思いをめぐらせました。

学年を越えた温かなつながりに、私自身もうれしい気持ちになりました。

学校生活の中では、勉強や運動だけでなく、何気ない関わりの中に大切な学びがあります。相手を思いやる気持ちや、自分から行動する勇気は、日々の積み重ねの中で育まれていくものだと感じています。

より多様な学年がふれあうことで優しさや思いやりの連鎖がより生まれるとすれば、それは義務教育学校の強みだろうと感じます。

さて、6月は、学習や運動にじっくり取り組める時期である一方、疲れも出やすい時期です。学校でも子どもたちの様子を丁寧に見守ってまいりますので、ご家庭でも健康管理へのご協力をお願いいたします。

優しさの連鎖をたくさん見ることでできる1学期後半でありたいと思います。

9年間の連続した育ちを支えます

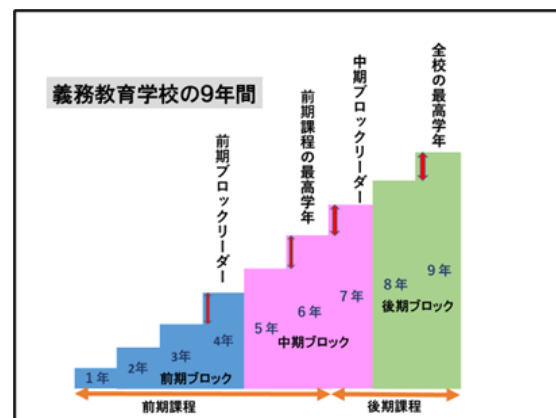
5月も終わりに近づき、児童生徒は、新年度の様々な学習や行事に取り組んでいます。

玉湯学園は、令和3年に義務教育学校となり、今年度で6年目となりました。義務教育学校は9年間の連続した育ちを支えていく特徴が強みですが、その中でも子ども達の発達段階を踏まえ、1～4年生を前期ブロック、5～7年生を中期ブロック、8～9年生を後期ブロックとして、ブロック毎のまとまりを生かした教育活動を行っています。

発達段階に応じた4年生、7年生、9年生でのリーダーとしての学びや経験が、それぞれの時期での成長に繋がるものと考えています。

また、教育課程上の前期課程（1～6年生）と後期課程（7～9年生）のまとまりで活動する機会も大切にしています。今年度は前期課程の「運動会」と後期課程の「体育祭」を、それぞれ時期をずらして実施することとしています。子どもたちの多様な関係性が、力を伸ばすきっかけになることを願っています。

今月号では前期ブロックは集会の様子を、中・後期ブロックは6年生と9年生を中心に子どもたちの様子を紹介します。



【前期ブロック】

「1年生をむかえる会」を開催しました

1年生が入学して約1か月が過ぎた5月1日(金)、前期ブロックではブロックリーダーの4年生が中心となって「1年生をむかえる会」(前期ブロック集会)を開催しました。楽しいクイズやゲームで交流した後は、1年生には大きなメダルのプレゼントもありました。1年生のたくさんの笑顔を見ることができ、4年生は企画・準備・進行と大活躍で、前期ブロックのリーダーとしての姿をしっかりと見せることもできました。

1～4年生が集う前期ブロックは学園生活の基礎を定着させる大切な時期です。素敵な関係性が広がることを期待しています。



拍手に包まれ1年生が入場しました。



「貨物列車」のゲームで大いに盛り上がりました。



素敵なメダルの贈り物です。

【中期ブロック (6年生)】

はじめての運動会で色リーダーをとめます(6年生)

玉湯学園では、初の前期課程のみの「玉湯学園運動会」を5月21日(木)に実施予定です。6年生はこれまでも前期児童生徒会等で委員会のリーダーを務めていましたが、今回は4つの色に分かれて運動会のリーダーを務めます。本番をめざし、やる気いっぱい練習に取り組んでいます。

運動会のスローガンは「十人十色」です。一人一人の個性が輝く運動会になることを願いますし、児童生徒会全体のスローガン「百花繚乱」にもつながり、学園の一体感も感じます。運動会が楽しみです！

運動会に向けて各色練習に励んでいます。今年は6年生が前期のリーダーとして役割がたくさんあり、それぞれのことに意欲をもって頑張っています。応援では、オリジナルの応援歌を考えたり、チームのコールを考えたりして取り組んでいます。実行委員の子どもたちは運動会のスローガンを真剣に考えてくれました。(学年だよりより)



6年生がはりきって歌や振り付けを教えています。

【後期ブロック（9年生）】

9年生としての1か月を終えて ～「初心」を思い出す～

5月15日（金）、9年生は学年朝礼を行いました。最終学年のスタートにあたり、次のようなお話をしました。

みんなが初めて何かをやった日のこと、覚えていますか？部活でも、勉強でも、友達づくりでもいいですよ。

初心というのは、“最初の気持ち”のことです。うまくなりたい、認められたい、楽しいと思った、あの時の気持ち。でも人は、慣れてくるとその気持ちを忘れてしまう。「めんどくさい」「どうせ無理」って。

だけど、私はその人が成長できるかどうかの大切な分岐点は“初心を思い出せるかどうか”だと思うのです。最初は1つできたことが嬉しかったのに、今はできないとイライラする。でも、その“最初の喜び”を思い出せた人は、また前に進めるかもしれない。

部活も、受験も、これからの人生も、うまくいかない時ほど、「なんで始めたんだっけ」って思い出すといい。「初心」は、普段は忘れててもいいから、時々立ち止まって思い出せばいい。初心を思い出して何度でも挑戦できることが大切だと思います。



学年朝礼で「職場体験の意義」について、自分の思いをみんなに発表しているところです。(5/15)

9年生の学年朝礼での、仲間同士で意見を交わし合い、全体の前で発表する姿は、本校ならではの素晴らしさだと感じました。児童生徒総会や部活動での様子、授業や中間テストなどに向かう後期ブロック生（8・9年生）の様子は、長い学園生活の最後の期間を迎えようとするやる気や緊張感も感じますし、なにか「私ならできる」というようなプライドのようなものを感じる時もあります。



大縄跳びでクラスの団結を高めました(4/15)

特に9年生は他校では経験しない9学年のリーダーとして活動することになります。大切な進路選択の取組も始まっています。9年生となった今、改めて「初心」を思い出し、改めて「挑戦する気持ち」を大切にしてほしいと願っています。



本物の新聞の作り方を学びました(4/30)



今年度最初の定期テストも頑張りました(5/14)

児童・生徒会総会を行いました

5月8日(金)児童生徒会の年度初めの総会を行いました。玉湯学園の児童生徒会は主に5年生以上で組織し、5,6年生中心のパートと7~9年生中心のパートに分かれて活動しますが、しばしばコラボ企画もあります。

今回の総会は前半は6年生以上で1学期の事業の説明や質疑などを、後半は7年生以上で「玉湯学園の魅力」の発信について全員で討議をする時間でした。

特に後半は全員で対話・共有し、論点をまとめていく活動が行われ、本校独自の誇ることのできる、充実した時間だったと思います。

変化する社会の中で、「自分で課題を見つけ、仲間と共に考え、大切なことを理解して活かしていく」ことが求められています。もちろん玉湯学園でもこれらを大切にしています。まさに子どもたち自身が日々実践をしてきていると感じる総会でした。



ホームページもぜひご覧ください！

- ・日々の子どもの様子や、特色ある行事などについてお知らせしています。
- ・緊急時の連絡もこちらから配信します。



授業公開日・PTA 総会・学級懇談 ありがとうございました

5月1日(金)には、今年度初めての授業公開を、そしてオンラインによるPTA総会、学年・学級懇談会を実施しました。

ご参加いただいた保護者の皆さまには、本当にありがとうございました。今後ともどうかよろしくお願いたします。

1・7年生交通安全教室 & 交通安全運動・自転車マナーアップ

今年も年度初めには春の交通安全運動が、また5月初旬には自転車マナーアップ運動が実施されました。

学校では、1年生に横断歩道のわたり方などを、7年生に自転車の乗り方について、関係の皆様にご協力いただき交通安全教室を実施しました。

玉湯地区の交通安全協会や交通指導員の皆様、駐在所の皆様をはじめ、地域の方々には日ごろから大変お世話になっております。

児童生徒の安全な登下校について、学校でも重ねて指導してまいりますが、引き続きご支援をいただきますようお願いいたします。

